

社会福祉法人 明星会

明星学園・第二明星学園便り

第14号

2022年2月28日

プリズム

一筋の光を七色の虹に変える、人は皆プリズム

『ハッピーフォト』



CONTENTS

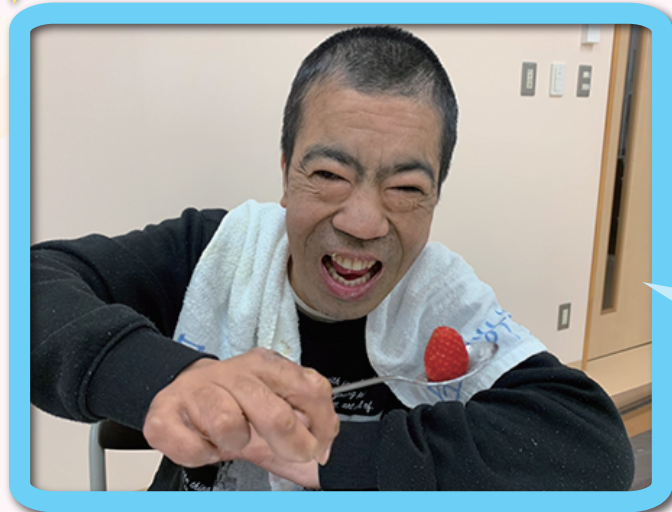
- 表紙 ハッピーフォト
- P2, 3 きらりびと
- P4 ターニングポイント
- P5 特集 虹メンバー
- P6 スタジオパレット
- P7 こちら明星学園通り一丁目
- P8 輪・和・わ！インフォメーション

表紙写真紹介

何気ない日常の中に素敵な瞬間があります。好きな人とのお付き合い、やりたかった事の実現等。その人の中で「幸せ」を感じた時に見る事のできる笑顔は周りの人まで幸せな気持ちにする力を持っています。

そんな幸せが詰まった心温まる瞬間の数々です。

きらりびと



今回紹介するのは星組のNさんです。

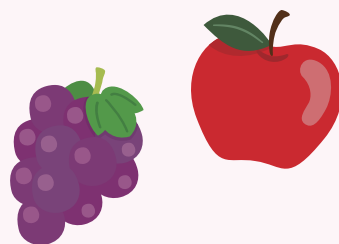
意思表示を言葉でできないNさん、ある日夜間に何度も起きてくる、職員室に来る、という事がありました。写真を指すなどして一生懸命に何かを教えてください。今までも自分の気持ちを嘔吐や発熱、足が痛いなど身体症状で教えてくれる事も多くなりましたが、今回はちょっと違います。

昨年、食事が摂れなくなり、発熱、嘔吐、ついに点滴注射を受ける所までいってしまった時には、〇×カードを使用したり、園長とのライン電話などで相談した結果、女性職員とケーキパーティーを行うことになりました。



翌日、ケーキ作りをすると、フルーツをつまみ食い、この日から徐々に食べられるようになっていきました。

好きな職員とお付き合いたいという気持ちをこのような形で伝えてくれたわけです。名前を「ハピハピデー」とつけ毎月一回のペースで待っています。



今年度からは、男性職員とおつきあいをしたいと広がり「ハピハピデー」は男性、女性交互に行う事になりました。

こちらの名称は「男のハピハピデー」。コーヒーの好きなNさんと一緒にコーヒーを飲みながらホットケーキやスイーツを食べようということになりました。時には焼肉もします。



伴走者の声

発信の増えたNさん。

今ではNさんの意思表示は、「イエス」のときは首を縦に振り「ノー」のときは手を横に降って違うことを教えてください。これからもNさんが本当の気持ちを伝えられるように応援し、楽しい学園生活になることを願っています。



「きりりびと ～本当の気持ちを伝えるために～」

こんにちは。パソコンができるT.Nです。気持ちを伝える時は話すよりもパソコンを使って気持ちを伝えるのがうまいんです!夢もあります!



特別支援教育関係の学会で当事者代表として自閉症の生きづらさについて発表しました。準備が大変だったけどうれしかったです。



でも、本当の気持ちは言えないことが多いけど、助けてほしい時にはパソコンを打って気持ちを伝えるんです。



毎日職員さんに話をして自信をもって生きていけるように…

私の夢は、結婚して好きな人に料理を作ること。今は料理の練習中です。一緒に作って食べました。「おいしかったよ～!」毎月料理してま～す♪



伴走者の声

T.Nさんはパソコンで気持ちを伝えることが上手な人です。本当の気持ちが伝えられるようにするには、自分に自信を持ってもらえるようにどう応援していくか、職員も勉強中です。好きな職員と料理をしたりいっぱいお話するのが大好きな、応援したくなるステキな女性です。

Turning Point

『学園の転職を決めたターニングポイント』 わくわく組 宮尾

私が福祉と出会ったのは、母親が病気を患ったからです。母親の病気は時間が経つにつれて、介助が増えていく病気でした。

住宅業界で働いていた私は、迷いもなく、母親の将来に備えて、介助技術を学ぶために高齢者介護の世界へ飛び込みました。

高齢者介護施設で働きながら、軽度から重度まで様々な方の介助技術を学びました。介護福祉士を取得し、通信制福祉大学で福祉の基本を学び、私の準備ができた頃、母と一緒に住もうと提案しました。答えは「NO」でした。親戚を巻き込んで何年も話し合いをしましたが、母親の思いは一貫しています。

その頃、ふらっと立ち寄った市立図書館で園長の著書『本当の気持ちと出会うとき』に出逢いました。

この本から、明星学園には、心の動きから、支援を考えていくプロセスがあることを知りました。即、園長に実態を見せて欲しいと連絡し、そこから、週1回2時間のボランティアという形で、一年ほど、明星学園に関わらせて頂きました。



明星学園では、言葉を話せない方との関わりを独自のフォーマットで記録に残し、移り変わる担当者へ引き継ぐことができていました。このシステムを

作った園長のエネルギーと、それを長年に渡って、とりまとめている職員の労力に頭が下がりました。私も大変なことに挑戦しているメンバーの一員になりたいと思ったので、高齢者介護施設から重度知的障害者施設へ転職を決意しました。

明星学園の経営理念は「**みんなしあわせになりたい。あなたもわたしも**」です。このことばには、私が福祉に携わり、体験している思いが込められています。利用者様との関わりの中で、“私自



身の人間理解が深まっていること” “支援技術が高まっていること” の恩恵を受けます。利用者様と支援者には、壁はなく、お互いに、ただ、ただ、今よりしあわせを求めて進んでいる。相互の自己実現へ向かっていることを表した、この経営理念を私は大変気に入っています。

しかし、障がい者福祉の世界はまだまだ、発展途上です。障がい者が守られる法律が成立し始めて、少しずつですが環境が変わり始めています。もっともっと、協力者を増やして、今の状況をなんとかしたいと、未熟ながらに考えております。

誰もが今よりしあわせになることを追求できる社会を作るため、これからも精進して参ります。縁あって、お会いできるときには、声をかけてください。お願いします。

特集

「幸せになるために伝えたい想い」

～私にも意思がある！～

大好きなあの人へ

コロナ禍で大切な人になかなか会えなかった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。Hさんもコロナ禍で大好きなお母さんにしばらく会えていませんでしたが、久しぶりに会いに行けることが決まりました。

知的障がいがあり、しゃべることができないHさん。

久しぶりに会うお母さんにHさんの気持ちを伝えるためにお手紙と一緒に書きました。

Hさんの前に○と✕のカードを置いて相談していきます。



「お母さんに会いたい？」

○を指差すHさん。

『お母さんに会いたかったよ』とお手紙に書かせてもらいます。

そのように、Hさんの気持ちを教えてもらいながらお母さんへのお手紙を書いていきます。

しゃべることができなくても、知的障がいがあっても、大好きなお母さんへの気持ちは確かにあって、○と✕のカードを通じて気持ちを教えてくれます。

Hさんの気持ち、ちゃんとお手紙にできたかな？

明星学園では、母の日やお誕生日を始めとして、大切な人に伝えたい気持ちをお手紙に書いて想いを伝えています。

Hさんの気持ちが大好きなお母さんに伝わりますように。

(虹組 廣瀬)

自分の伝えたい事を言えなかった葛藤

Iさんは昔ながらの優等生でお母さんの言う事をしっかり聞く人でした。帰省してお母さんと買い物に出かけても口頭では「欲しいものはない」と答えるけれど本当は欲しい物がある、だけどわがままを言うてはいけないう気持ちがあり我慢しておりその我慢の結果、家では頻尿になり何度もトイレに行く過ごし方をしていました。

そんなIさんが欲しい物を買うチャレンジの一步として自分で好きな味のカップラーメンを選んで食べようという支援を開始しました。欲しい物が言えないIさんにとっては大きなチャレンジだったと思います。買ったカップラーメンを好きなタイミングで食べる事、これもIさんにとってはハードルが高いことだったと思います。10年の時間をかけて、今は外出で好きなカップラーメンを選んで好きな日に食べる事が出来ています。



昔は倅約家でお金を使う事が出来ず、誕生日にケーキが食べたいと伝え職員が誕生日用のホールケーキを買ってきたことがありました。ですがIさんはホールケーキが食べられませんでした。Iさんの中では三角の小さなケーキを思い浮かべていましたがホールケーキを買って来てしまい想定外の事でパニックになってしまいました。

大きいケーキは食べるのがもったいない、こんなにお金を使って怒られるのではないかと不安が強く出ていたのだと思います。長い時間をかけてホールケーキを食べれるようになり今では誕生日のケーキをパンフレットを見ながらこれがいなと伝えてくれています。

そんな倅約家のIさんが昨年の誕生日に大きなテレビが欲しい、誰よりも大きいテレビがいいと伝えてくれました。その為、明星学園のメンバーでは初めてとなる50インチの超大型テレビを購入しました。

今まで欲しい物をなかなか伝えられなかったIさんが今では写真カードを使用してこれが欲しいなあれがいいなと伝えてくれるようになりました。カードを使用しながら相談すると口頭ではアレがいいと言いながらカードでみると全く違う物を選んでる事もあり怒られ不安の遠慮から言えない事も多いのだなと改めて実感する事が出来ました。

(虹組 高橋)



スタジオパレット

コロナ禍での
旅行代替え事業



頑張れ、頑張れ！
ジャイアンツ！

外でやくお肉はおいしいな～



だいすきな担任と



きれいな景色
みんなでみれて
嬉しいな



大きな声で歌うと
きもちいいな



パフェを作って女子会♪
お話がはずみます



毎年メンバーさん個々のニーズに合わせて行っている旅行ですが、コロナ禍の為、学園で代替えを計画しました。

豪華な食事をする、きれいな景色をみるといった目的だけではなく、一緒に生活する仲間と計画をたてる、大好きな担任とゆっくり過ごすといった目的があります。

遠出はできませんが、個々のニーズに合わせて行う事はかわりません。BBQをしたり、野球観戦やカラオケをしたり…いつもとは違う素敵な笑顔を見ることができました。はやくコロナが落ち着きますように



「僕の人生は僕が決める！」

明星学園・第二明星学園 総園長 宮下 智

私たち障がい者支援の領域において、あるいは障がい者当事者運動の領域において「私たちのことを私たち抜きで決めないで (Nothing About us without us)」という言葉、スローガンがあります。「自分の人生は自分で決める」という当たり前のことが保証されていなかった障がい者支援の歴史がこの言葉を生み出しているのですが、このスローガンが初めて掲げられたのが 1970 年代だということを考えると、それから 50 年、どのくらい世の中が進化し、このスローガンに従って支援が進められたかについては、いささかの不安が生じます。特に知的障がい、自閉症支援の領域では、「あなた方には判断能力がないのだから」と全てのことが周囲の関係者（家族、教職員、支援職員、行政職員 etc.）の決めた通りに進んでいくことが多かったのではないのでしょうか？（今でも？…）

昨秋、「僕の人生は僕が決める！」と学園を飛び出した方がいます。「僕のことを捜さないで」と、彼は、飛び出す日、最後のお別れの言葉を私に伝えに来たので「あなたの言う通り、私はあなたを捜さないよ、でも、あなたがお家に帰る途中で事故にあったか、なにか困っているのではないかは心配なので、必ず、GPS の携帯は身につけていてよ。GPS が移動していれば元気だということがわかるし、長い時間止まってしまっていれば、事故にあったかもしれないとわかるからね」と答えました。今までも何回も飛び出している彼でしたので、GPS は、彼にとっては必須のアイテムで、最後の最後までこれが役立ったのでした。

世間常識的に考えて、入所施設から勝手に家庭に戻ることは、いけないことだとされています。また、もちろん家族だって、それは悪いこと、支援職員に迷惑をかけることだと考えます。支援職員だって、まだまだ自分たちの支援なくてはならないことがたくさんあると考えていますから、家に帰るなんてとんでもないことだと考えます。



また、現実的にもはたして数年前に破綻した地域での生活が可能かどうかは、かなりのクェッションマークです。

しかし、彼は彼なりにこれらのことを全て考えて、一人で家に帰ることを選択し、健気にも最後のお別れの言葉を園長である私に伝えに来たのでした。

「捜さないでね」は、彼にとっては「信じてください」でもあるし「お世話になりました」でもあるし「ありがとう」でもあったのでしょうか。その後、家庭まで出向いて相談した支援職員に彼は高らかに宣言したのでした。「僕の人生は僕が決める」と。



彼は、入所してからのこの数年の間に、自分の気持ちを上手に伝えることができるようになりました。今まで伝えられなかった甘えたい気持ち、羨ましい気持ち、上手に伝えられるようになっていました。もちろん不平不満も、暴力や威嚇や物損ではなく、言葉で上手に語れるようになりました。小さい時から参加できなかった集団でのレクリエーションや自治会などにも顔を見せることができるようになりました。それもこれもみんな彼の生きてきた人生を振り返っても、＜初めて＞できるようになったことばかりです。

確かに周囲の関係者（家族や支援職員等）にとっては、まだまだ不十分で未熟に見える彼の言動です。しかし、彼は彼なりに自分の行動変容に手応えを、自信を感じていたのでしょうか。それが彼の「自分の人生は自分で決める」宣言につながったと思えるのです。

そうしたら自分たちのすべき支援は、彼の自己決定を応援することしかありません。「困ったことがあったら、いつでも電話をしてきなよ」と本人に、また失敗を、生活破綻を懸念する家族には「困ったときには、いつでも明星学園が使えますからね」と。

知的障がい者本人を中心に物事を考える時、時折り明星学園の常識は世間の非常識となり、世間の常識は明星学園の非常識となります。それはまだまだ日本の社会が「私たちのことを私たち抜きで決めないで」というスローガンを受け入れることができないにいるからではないかと思うのですが、皆さん、いかがでしょうか？

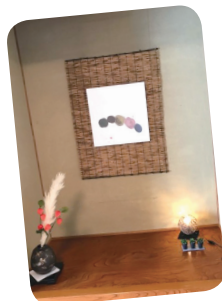
※写真はイメージです。記事との関連はありません。

輪・和・わ! インフォメーション

チェンジ!!

なんでもない普通の和室が高級旅館の一室へ

コロナ禍でホテルや旅行の利用ができないメンバーさん方に少しでも旅行気分を味わって欲しいと、和室を改良しました。



襖には、きれいな装飾を施しています

旅館のような落ち着いた床の間窓際

はゆったりくつろげるスペース

テーブルクロス、カーテンは癒しのカラー

2022年度 (7月～2月) 明星学園・第二明星学園 苦情・虐待に関する通報事案

①苦情

明星学園：1件 第二明星学園：3件

②人権侵害・虐待を疑わせる通報

明星学園：0件 第二明星学園：6件

第二明星学園の虐待通報2件(性的虐待・心理的虐待)は、市町村の聞き取り調査が行われ、該当職員については面談、指導、個別の改善に向けた取り組みを設定、実施しています。

③園内取り組み

- ・虐待防止人権倫理委員会検討：毎月1回定例会議
- ・虐待チェックリストによるチェックを全クラスにて実施
- ・権利擁護に関する研修の実施(職員全員参加)

♡♡♡結の街メール♡♡♡

寄贈

- 新井様 ジャガイモ 54kg
- 飯田東中学校様 りんご1箱
- (株)中村様 トイレットペーパー 2112 ロール
- 三菱電機(株)中津川製作所飯田工場様
りんご 10kg 2箱、りんごジュース 6本 2箱
- 緑ヶ丘中学校様 プランター 3鉢
- NEXCO 中日本様 りんご 3箱

皆様からのご支援、誠にありがとうございました。



社会福祉法人 明 星 会

障害者支援施設

明星学園(生活介護事業)(施設入所支援事業)

第二明星学園(生活介護事業)(施設入所支援事業)

〒399-2561 飯田市駄科2250

TEL 0265-26-9456 FAX 0265-26-9094

ホームページ <https://www.myojo-gakuen.or.jp>

メールアドレス myojo-gakuen-iida@clock.ocn.ne.jp

明星保育園

〒395-0807 飯田市鼎切石3928

TEL 0265-24-8020 FAX 0265-24-8008

ホームページ www.myoujou-hoikuen.com

メールアドレス myoujou-408@juno.ocn.ne.jp

グループホーム

北方日の出ホーム

〒395-0151 飯田市北方61-7 TEL 0265-48-8070

北方のぞみハイツ

〒395-0151 飯田市北方68-7 TEL 0265-48-0885

みんな幸せになりたい
あなたも私も